



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 旭化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3407 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 健嗣  
 問合せ先責任者(役職名) 広報室長 (氏名) 山崎 真人 (TEL) 03(3296)3008  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,389,648	15.6	109,807	75.6	109,530	74.6	66,078	85.6
25年3月期第3四半期	1,202,612	2.8	62,515	△28.2	62,717	△28.7	35,610	△25.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 130,338百万円(132.9%)

25年3月期第3四半期 55,967百万円(22.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	47.28	-
25年3月期第3四半期	25.48	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,959,415	935,166	47.1	659.83
25年3月期	1,800,170	824,451	45.1	581.05

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 922,060百万円 25年3月期 812,080百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00
26年3月期	-	7.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,896,000	13.8	140,000	52.2	138,500	45.6	77,000	43.4	55.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項（詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,402,616,332株	25年3月期	1,402,616,332株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,187,722株	25年3月期	5,016,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,397,533,757株	25年3月期3Q	1,397,663,351株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
4. 補足情報 .....	13
(1) セグメント別売上高及び営業利益 .....	13
(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間) .....	14
(3) 主要項目の状況(連結) .....	14
(4) 住宅 建築請負事業の状況 .....	14
(5) その他の項目 .....	15
(6) 有利子負債残高(連結) .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 業績全般

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月～12月、以下「当第3四半期」)における世界経済は、米国は緩やかな回復基調にあり、欧州も持ち直しの兆しが見られるなど底堅さが増しましたが、中国など新興国経済の成長鈍化や米国の金融緩和縮小などの不安定要因を抱えており、先行き不透明な状況で推移しました。一方、日本経済は円安・株高の進行を背景に企業収益が改善し、個人消費が持ち直すなど景気は緩やかに回復していますが、世界経済の下振れリスクや今後の消費増税による影響など、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。

このような状況の中で、当社、連結子会社及び持分法適用会社(以下「当社グループ」)の当第3四半期における連結業績は、住宅事業において引渡戸数が増加したことや、ケミカル事業及び医薬事業において販売量が増加したこと、並びに円安の進行により輸出事業全般の採算が改善したことなどから、売上高は1兆3,896億円で前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)1,870億円(15.6%)の増収となり、営業利益は1,098億円で前年同期比473億円(75.6%)の増益、経常利益は1,095億円で前年同期比468億円(74.6%)の増益、四半期純利益は661億円で前年同期比305億円(85.6%)の増益となりました。

#### ② セグメント別概況

当社グループの7つの報告セグメント「ケミカル」「繊維」「住宅」「建材」「エレクトロニクス」「医薬・医療」「クリティカルケア」及び「その他」に区分してご説明します。なお、第1四半期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

また、「クリティカルケア」セグメントは、前第3四半期では平成24年4月27日以降の業績を開示していましたが、当第3四半期は全期間の業績を連結対象としています。

#### 「ケミカル」セグメント

売上高は5,984億円で前年同期比970億円(19.4%)の増収となり、営業利益は331億円で前年同期比157億円(90.0%)の増益となりました。

石化・モノマー系事業は、アクリロニトリルの市況が低水準で推移したことや、原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、スチレンモノマーの市況が改善しました。ポリマー系事業は、ポリエチレンなどが原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、エンジニアリング樹脂や省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移しました。高付加価値系事業は、イオン交換膜を中心とした円安の効果に加え、添加剤事業やコーティング事業などの販売が堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

#### 「繊維」セグメント

売上高は899億円で前年同期比85億円(10.4%)の増収となり、営業利益は67億円で前年同期比37億円(122.7%)の増益となりました。

ナフサなど原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、人工皮革「ラムース<sup>TM</sup>」のカーインテリア向けなどの不織布やポリウレタン弾性繊維「ロイカ<sup>TM</sup>」の販売量が増加したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

#### 「住宅」セグメント

売上高は3,602億円で前年同期比298億円(9.0%)の増収となり、営業利益は388億円で前年同期比70億円(21.9%)の増益でした。なお、建築請負事業の受注高は3,211億円で、前年同期比256億円(8.7%)の増加となりました。

建築請負事業は、前年の好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウス<sup>TM</sup>」や集合住宅「ヘーベルメ

ゾン™」の引渡戸数が増加しました。また、不動産事業は賃貸管理事業を中心に順調に推移し、リフォーム事業でも大型改築・改装工事などの受注が好調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

#### 「建材」セグメント

売上高は428億円で前年同期比36億円(9.2%)の増収となり、営業利益は51億円で前年同期比18億円(55.0%)の増益となりました。

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル™」の販売量が増加し、中小型パイル工法「イーゼット™」・「ATTコラム™」では新規用途の開拓などにより受注が拡大しました。また、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマ™フォーム」や構造資材事業の販売も堅調であったことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

#### 「エレクトロニクス」セグメント

売上高は1,113億円で前年同期比112億円(11.1%)の増収となり、営業利益は128億円で前年同期比114億円(803.8%)の増益となりました。

電子部品系事業では、各製品において販売価格の下落の影響を受けましたが、円安の効果に加え、スマートフォンなど携帯端末向けに電子コンパスや磁気センサなどの販売量が増加しました。電子材料系事業では、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」を中心に販売価格の下落の影響を受けましたが、円安の効果に加え、各製品における高機能領域の販売が順調に推移しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

#### 「医薬・医療」セグメント

売上高は1,170億円で前年同期比161億円(15.9%)の増収となり、営業利益は264億円で前年同期比119億円(82.4%)の増益となりました。

医薬事業では、販管費が増加しましたが、骨粗鬆症治療剤「テリボン™」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン™」を中心に販売量が増加しました。医療事業では、血液浄化事業などにおける円安の効果に加え、ウイルス除去フィルター「プラノバ™」の販売量が増加しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

#### 「クリティカルケア」セグメント

売上高は576億円で前年同期比215億円(59.4%)の増収となり、事業利益(\*)は71億円で前年同期比15億円(26.5%)の増益となり、営業損失は27億円で前年同期比4億円の減益となりました。なお、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響は、前年同期比19億円増加し98億円でした。

着用型自動除細動器「LifeVest™」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器の販売なども堅調でしたが、営業活動強化のため販管費が増加しました。また、連結対象期間の差異による影響などから、セグメント全体では増収・減益となりました。

(\*)事業利益：ZOLL Medical Corporationを買収したことに伴い計上したのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響を除いた営業利益

#### 「その他」

売上高は125億円で前年同期比6億円(4.6%)の減収となり、営業利益は10億円で前年同期比7億円(41.0%)の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、「住宅」セグメントを中心としたたな卸資産が490億円、保有株式

の時価が上昇したことなどにより投資有価証券が288億円、受取手形及び売掛金が283億円、有形固定資産が211億円増加したことなどから、前連結会計年度末(以下「前年度末」)に比べて1,592億円増加し、1兆9,594億円となりました。

有利子負債は、短期借入金が97億円減少したものの、コマーシャル・ペーパーが160億円増加したことなどから、前年度末に比べて50億円増加し、3,865億円となりました。

純資産は、配当金の支払196億円があったものの、四半期純利益を661億円計上したことや、為替換算調整勘定が402億円増加したことなどから、前年度末に比べて1,107億円増加し、9,352億円となりました。

この結果、自己資本比率は47.1%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加413億円、法人税等の支払額282億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益1,014億円、減価償却費633億円などの収入があったことから、1,009億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出598億円、無形固定資産の取得による支出126億円などがあったことから、776億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの増加160億円などがあったものの、長期借入金の返済による支出277億円、配当金の支払額196億円などがあったことから、239億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物の為替換算による増加額48億円、連結の範囲の変更による増加額5億円などがあったことから、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より46億円増加し、1,086億円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月31日に公表した当連結会計年度の連結業績予想に対し、建築請負事業の引渡し为好調な「住宅」セグメントにおいて増収・増益となるものの、原燃料価格の高騰による影響を受ける「ケミカル」セグメントや、需要の落ち込みが予想される「エレクトロニクス」セグメントで減収・減益となることなどから、グループ全体としては減収・減益となる見込みです。

以上により、前回公表の連結業績予想を修正いたしました。

また、配当につきましては、当初の期末配当予想より1円増配の8円とし、年間配当は15円とさせていただきます。

(通期)

(単位：億円)

	前回公表(A) 平成25年10月31日公表	今回公表(B)	増減額 (B-A)	前連結会計年度 実績
売上高	19,040	18,960	△80	16,666
営業利益	1,450	1,400	△50	920
経常利益	1,430	1,385	△45	951
当期純利益	860	770	△90	537

(注) 今回公表の業績予想は、以下を前提条件としています。

ナフサ価格¥67,125/k1、為替レート¥100/\$・¥134/€(当連結会計年度平均)

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	109,513	115,620
受取手形及び売掛金	306,222	334,524
有価証券	124	66
商品及び製品	145,470	157,627
仕掛品	100,513	133,267
原材料及び貯蔵品	63,695	67,770
繰延税金資産	21,945	23,576
その他	73,619	79,993
貸倒引当金	△1,631	△1,871
流動資産合計	819,469	910,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	428,616	451,803
減価償却累計額	△241,191	△249,174
建物及び構築物 (純額)	187,425	202,629
機械装置及び運搬具	1,236,111	1,293,763
減価償却累計額	△1,082,480	△1,125,286
機械装置及び運搬具 (純額)	153,631	168,477
土地	58,176	58,245
リース資産	13,980	13,787
減価償却累計額	△7,173	△8,729
リース資産 (純額)	6,806	5,059
建設仮勘定	41,482	30,953
その他	129,716	137,976
減価償却累計額	△115,656	△120,650
その他 (純額)	14,060	17,326
有形固定資産合計	461,581	482,688
無形固定資産		
のれん	134,303	144,502
その他	121,114	123,669
無形固定資産合計	255,417	268,170
投資その他の資産		
投資有価証券	224,903	253,742
長期貸付金	5,248	9,617
繰延税金資産	8,487	9,399
その他	25,311	25,459
貸倒引当金	△245	△232
投資その他の資産合計	263,704	297,985
固定資産合計	980,702	1,048,843
資産合計	1,800,170	1,959,415



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,630	189,964
短期借入金	113,043	103,374
コマーシャル・ペーパー	70,000	86,000
1年内償還予定の社債	5,000	—
リース債務	2,415	1,932
未払費用	91,646	77,093
未払法人税等	13,978	18,463
前受金	61,953	85,526
修繕引当金	2,359	7,496
製品保証引当金	2,143	2,115
固定資産撤去費用引当金	1,910	2,936
資産除去債務	722	548
その他	65,064	59,166
流動負債合計	602,864	634,613
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	146,929	152,414
リース債務	4,051	2,767
繰延税金負債	39,985	56,309
退職給付引当金	107,776	109,559
役員退職慰労引当金	767	794
修繕引当金	4,255	258
固定資産撤去費用引当金	2,960	983
資産除去債務	2,834	3,745
長期預り保証金	18,396	18,309
その他	4,902	4,498
固定負債合計	372,855	389,636
負債合計	975,719	1,024,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,389	103,389
資本剰余金	79,403	79,404
利益剰余金	553,557	600,184
自己株式	△2,431	△2,558
株主資本合計	733,918	780,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,622	85,505
繰延ヘッジ損益	△900	△488
為替換算調整勘定	16,440	56,624
その他の包括利益累計額合計	78,162	141,640
少数株主持分	12,371	13,106
純資産合計	824,451	935,166
負債純資産合計	1,800,170	1,959,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,202,612	1,389,648
売上原価	893,171	1,008,346
売上総利益	309,442	381,302
販売費及び一般管理費	246,927	271,495
営業利益	62,515	109,807
営業外収益		
受取利息	1,037	879
受取配当金	2,368	2,743
為替差益	1,568	2,256
その他	3,331	3,321
営業外収益合計	8,303	9,200
営業外費用		
支払利息	2,443	2,580
持分法による投資損失	1,005	3,097
その他	4,653	3,800
営業外費用合計	8,101	9,477
経常利益	62,717	109,530
特別利益		
投資有価証券売却益	66	319
固定資産売却益	154	1,500
特別利益合計	219	1,818
特別損失		
投資有価証券評価損	32	586
固定資産処分損	2,560	2,522
減損損失	1,081	283
事業構造改善費用	4,146	2,047
開発中止に伴う損失	—	4,493
特別損失合計	7,818	9,930
税金等調整前四半期純利益	55,118	101,419
法人税等	18,871	34,697
少数株主損益調整前四半期純利益	36,247	66,721
少数株主利益	637	643
四半期純利益	35,610	66,078

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,247	66,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,187	22,813
繰延ヘッジ損益	1,018	412
為替換算調整勘定	14,433	38,625
持分法適用会社に対する持分相当額	2,082	1,767
その他の包括利益合計	19,720	63,617
四半期包括利益	55,967	130,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,006	129,189
少数株主に係る四半期包括利益	961	1,149

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	55,118	101,419
減価償却費	58,184	63,315
減損損失	1,081	283
のれん償却額	4,930	6,620
負ののれん償却額	△201	△173
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△2,108	1,136
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△217	△50
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	△1,602	△951
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,523	1,640
受取利息及び受取配当金	△3,405	△3,623
支払利息	2,443	2,580
持分法による投資損益 (△は益)	1,005	3,097
投資有価証券売却損益 (△は益)	△66	△319
投資有価証券評価損益 (△は益)	32	586
固定資産売却損益 (△は益)	△154	△1,500
固定資産処分損益 (△は益)	2,560	2,522
売上債権の増減額 (△は増加)	△11,180	△20,215
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,045	△41,254
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,245	10,849
未払費用の増減額 (△は減少)	△23,106	△16,271
前受金の増減額 (△は減少)	16,745	23,160
その他	△12,002	△5,792
小計	66,780	127,059
利息及び配当金の受取額	4,346	4,412
利息の支払額	△2,440	△2,426
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△20,413	△28,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,273	100,869
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△5,696	△5,927
定期預金の払戻による収入	9,256	5,520
有形固定資産の取得による支出	△64,115	△59,781
有形固定資産の売却による収入	383	2,295
無形固定資産の取得による支出	△11,994	△12,630
投資有価証券の取得による支出	△3,081	△2,168
投資有価証券の売却による収入	571	971
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△174,432	△1,697
連結子会社株式の追加取得による支出	△1,332	△152
貸付けによる支出	△9,183	△9,784
貸付金の回収による収入	6,944	6,433
その他	△1,574	△700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△254,254	△77,622

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	34,938	2,982
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	97,000	16,000
長期借入れによる収入	88,117	11,864
長期借入金の返済による支出	△8,340	△27,685
社債の発行による収入	20,000	—
社債の償還による支出	—	△5,000
リース債務の返済による支出	△1,874	△1,946
自己株式の取得による支出	△32	△130
自己株式の処分による収入	4	2
配当金の支払額	△19,567	△19,566
少数株主への配当金の支払額	△665	△553
その他	△110	108
財務活動によるキャッシュ・フロー	209,471	△23,924
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,809	4,768
現金及び現金同等物の期首残高	96,351	104,008
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	102	498
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,327	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,808	108,597

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

第1四半期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

## (1) セグメント別売上高及び営業利益

## (a) 連結売上高

(億円)

	H25/3期	H26/3期	増減額		H25/3期	H26/3期
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績			連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	5,014	5,984	970	19.4	6,846	7,900
繊維	814	899	85	10.4	1,096	1,220
住宅	3,304	3,602	298	9.0	4,862	5,340
建材	392	428	36	9.2	515	560
エレクトロニクス	1,002	1,113	112	11.1	1,311	1,450
医薬・医療	1,009	1,170	161	15.9	1,335	1,520
クリティカルケア	362	576	215	59.4	521	790
その他	131	125	△6	△4.6	180	180
合計	12,026	13,896	1,870	15.6	16,666	18,960

## (b) 連結営業利益

(億円)

	H25/3期	H26/3期	増減額		H25/3期	H26/3期
	第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績			連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	174	331	157	90.0	229	380
繊維	30	67	37	122.7	40	85
住宅	318	388	70	21.9	543	620
建材	33	51	18	55.0	40	60
エレクトロニクス	14	128	114	803.8	28	140
医薬・医療	145	264	119	82.4	159	285
クリティカルケア	△23	△27	△4	—	△37	△35
その他	16	10	△7	△41.0	22	15
小計	707	1,212	504	71.3	1,025	1,550
消去又は全社	△82	△114	△31	—	△105	△150
合計	625	1,098	473	75.6	920	1,400

(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)

(億円)

	数量差	売値差	内 為替因	コスト差等	計
ケミカル	21	416	398	△280	157
繊維	7	48	49	△18	37
住宅	80	40	—	△50	70
建材	9	3	—	6	18
エレクトロニクス	27	45	136	43	114
医薬・医療	115	52	51	△48	119
クリティカルケア (注)	50	3	△1	△57	△4
その他	△2	—	—	△5	△7
小計	307	608	633	△410	504
消去又は全社	—	—	—	△31	△31
合計	307	608	633	△442	473

(注) 連結対象期間の差異による影響は「コスト差等」に含めています。

(3) 主要項目の状況(連結)

		H25/3期	H26/3期	H26/3期
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	連結会計 年度見通し
設備投資額(有形)	億円	706	561	890
設備投資額(無形)	億円	122	65	145
減価償却費	億円	582	633	895
金融収支 (内 受取配当金)	億円	9 (24)	10 (27)	9 (31)
研究開発費	億円	526	519	720
四半期末人員	人	28,435	29,146	
D/Eレシオ		0.56	0.42	

(注) 減価償却費は有形と無形の合計額

(4) 住宅 建築請負事業の状況

		H25/3期	H26/3期	増減	増減率 %	H26/3期
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績			連結会計 年度見通し
受注戸数	戸	12,994	14,109	1,115	8.6	18,780
受注高	億円	2,955	3,211	256	8.7	4,260
受注残高	億円	4,476	5,059	583	13.0	4,861
売上戸数	戸	9,673	10,486	813	8.4	16,730
売上高	億円	2,397	2,597	200	8.4	3,845



## (5) その他の項目

		H25/3期	H26/3期	増減	H26/3期 連結会計 年度見直し
		第3四半期 累計実績	第3四半期 累計実績		
ナフサ価格(国産ナフサ)	¥/kl	55,400	65,733	10,333	67,125
為替レート(相場平均)	¥/\$	80	99	19	100
	¥/€	102	132	30	134

## (6) 有利子負債残高(連結)

(億円)

	前年度末 実績	当第3四半期末 実績	増減額
短期借入金	1,130	1,034	△97
コマーシャル・ペーパー	700	860	160
1年内償還予定の社債	50	—	△50
長期借入金	1,469	1,524	55
社債	400	400	—
リース債務	65	47	△18
合計	3,814	3,865	50